

掛川地区

更女会だより

第96号 更女だより

大須賀支部担当

平成31年2月発行



『矯正施設「栃木刑務所」』

会長 渥美 敏子

皆様方におかれましては、日頃より更生保護事業に御支援・御協力を頂きまして誠にありがとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

更女会は、矯正施設視察研修を年1回保護司の皆様と合同で行っております。栃木刑務所は女子受刑者のみ収容している施設です。係員より所内を歩きながら説明を受け、美容科の前で止まりました。

明るい室内で20代の女性4～5人がシャンプーをしている人、髪の毛を巻いている人等熱心に実習を受けていました。どこにも見られる美容サロンの様でしたが、ただ1つだけ違っていたのは、若い女性の刑務官が紺の制服に身を包み、髪をキリッとまとめ彼女たちを目で追っている事でした。

資格を取得するのに2年以上かかるとお話があり、どんな罪を犯したか知るよしもありますが、かなり重い罪のようでした。

刑務官の『彼女達を真に更生する』と言う熱い信念と、仕事に対する強い責務が窓ガラス越しに伝わってきました。彼女達も刑務官の厳しさと温かさを肌で感じとっていたに違いありません。時々凜とした横顔と紺の制服が脳裏をよぎります。今回の視察研修も、保護司会の皆様から色々ご配慮を頂きました。得ることの多いとても有意義な2日間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

最後になりますが、会長の任期も後1ヶ月余りになりました。皆様から頂いた数々の御支援と御協力があってこそ務められた2年間です。本当に有り難く心よりお礼申し上げます。今後も今まで同様御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。



目次

- P1 矯正施設「栃木刑務所」
(会長 渥美 敏子)
- P2 ミニ集会
～廃油石鹸、ホウ酸だんご作りに参加して～
(掛川支部 齋藤 昌子)
- P2 視察研修会に参加して
(大東支部 鈴木 きみえ)
- P3 社会貢献活動に参加して
(大東支部 近藤 正子)
- P3 『はじめよう！ちいさな一歩は笑顔から』
第14回掛川市ふれあい広場に参加して
(掛川支部 竹嶋 美佐子)
- P3 おしゃべり交流会に参加して
(大須賀支部 深谷 由美子、田中 紀美枝)
- P4 e～らふるさとinおおすかに参加して
(大須賀支部 林 知余、鈴木 睦子、大石 幸恵)
- P4 西部ブロック研修会に参加して
(大東支部 熊切 信子)
- P5 静岡県更生保護大会に参加して
(大須賀支部 内藤 とみ江)
- P5 大東市民交流フェスタ
(大東支部 山下 幸代)
- P6 少年の家の夕食作り
(掛川支部 八重樫 隆子)
- P6 活動で広がる会員の輪
(大須賀支部 鈴木 睦子)
- P7 名古屋刑務所の視察研修に参加して
(掛川支部 山崎 富美子)

掛川市役所福祉課

掛川市長谷 1-1-1-

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 渥美 敏子 TEL:74-2220

『ミニ集会～廃油石鹼、ホウ酸だんご作りに参加して～』 8/21

掛川支部 齋藤 昌子

8月21日、満水の「環境資源ギャラリー」に於いて手作り「廃油石鹼」、ゴキブリ退治の「ホウ酸だんご」作りをいたしました。どちらも日常生活にかかせないもので短時間に作ることができました。手作り石鹼は香りの良いせんだんの葉入りです。10月21日のふれあい広場での販売がとても楽しみです。その後「更生保護女性連盟の活動記録」のDVDを参加者と視聴しました。とても参考になりました。



『視察研修会に参加して』 8/21

大東支部 鈴木 きみえ

8月21日の暑い日に、快適な南郷地区センターにおじゃまして、研修会が行われました。

台風による豪雨被害や地震の報道等、災害の情報が続くなかで、タイムリーな研修会で、とても勉強になりました。

はじめに南郷地区まちづくり協議会会長の中村隆哉様（2018年度防災功労者として大臣表彰を受けられた旨新聞報道もありました）から地区の概要、従来の取り組み、そして女性自主防災会設立に至るまでの過程（とても長い時間をかけてここまで来られた事がよくわかりました。）等のお話をいただき、こういう献身的な方がおられてこそその現在であると心より感じました。

その後、南郷地区女性自主防災会の設立を主導された、更生保護女性会員でもある落合満江さんから、さまざまな活動内容の説明をしていただき、その細やかさ充実ぶりに驚かされました。



女性の声を防災の組織や現場に反映させることは、必要不可欠な事なのは誰も思っていると思いますが、それをこうした形にしているのは、その実行力に心より敬意を表したいと感じました。

私達も自分の居る場所で考え、声をあげて、いざという時に誰もができるだけ困らない態勢を備えていかなければならないと思いました。

“女性自主防災倉庫”の充実ぶり、小さいお子さんを持つ方への配慮など、皆さんも是非1度見学させて戴くことをお勧めします。

いろいろな情報を、他人事ではなくて自分の事として何が出来るか考えていかななくてはならないと、考える1日となりました。

残暑厳しい8月の午後、保護司さん更女会員8名で、社会復帰を目指す若者と一緒に施設のガラス拭きのボランティアに参加しました。2時間程で綺麗に成り、暑い中、皆、対象者に寄り添い、優しい気持ちで作業したのではと思いました。

更生保護の心で、心優しく見守って上げればきっと彼等に明るい社会が待っているでしょう……きっと



『はじめよう！ちいさな一歩は笑顔から』

～第14回掛川市ふれあい広場に参加して～

10/21

掛川支部 竹嶋 美佐子

10月21日、私は掛川市更生保護女性会として、初めてふれあい広場に参加いたしました。当会としては、例年のように活動紹介と啓発資料を配布し、廃油で作った「手作り石鹸」と、ゴキブリ退治の「ホウ酸団子」を販売しましたが、すべて完売いたしました。その他、会員手作りの「携帯置き」又、古着も評判がとても良く、持ち込んだ「次郎柿」もまたたく間に売れてしまいました。

場所が入口近くという事もあり、沢山の友達とのふれあいが出来、思いがけない人との出会いもありました。クイズで「更女のバッヂは何の花？」という問題も皆様と一緒に楽しく考え、本当に充実した1日でした。

皆が皆、それぞれに自分らしく、仲良く手を取り合って、笑顔で、生き生きとしている姿に感動し、私自身とても元気になりました。来年も又、素晴らしい出会いがありますように……。



『おしゃべり交流会に参加して』 9/1、9/12

大須賀支部 深谷 由美子、田中 紀美枝

8月の新会員研修会を受講し、初めて更女活動に参加しました。

おしゃべり交流会は、30名近い出席者で、渥美会長さんのご挨拶、支部長さんのお話し、理事の伊藤さんの周到なるお手玉の準備に思わず「うわー」和風柄のきれいな布の裁断、組み合わせの準備まで済んでいて、それを選ぶところから楽しませてもらい、スタートです。さて「糸が通らない」、「ここわからない」、「先生」とあちこちで聞こえ四苦八苦。何とか2個のでき上り、頭、手、口の運動に最高でした。3個の宿題、頑張らなくちゃ。

支部長さんの紹介の新聞紙スリッパも災害時大変役立ちます。皆さんに多いに広められたらと思います。「ちょいかぶり」一本のタオルがかぶり物になるとは、生活の知恵、ほんとに皆さんのポケットの大きさに驚きです。まきばの家の支援のぞうきん作りも皆さんとご一緒に口を動かしながらだった

ら楽しく何枚もできてしまいました。大東地区、掛川地区の方のご参加もあり、地区を越えての交流を持っているのは増々の発展につながると思います。心強く感じます。

2日間の交流会に出席させて頂き、更女の会とは心暖まるやさしい会だなと感じました。私達もこれからできる事から地域へのご恩返しと考え参加させて頂きます。とても和やかな楽しい会でした。ありがとうございました。



『e～らふるさと in おおすかに参加して』 11/4

大須賀支部 林 知余、伊藤 富子、鈴木 睦子、大石 幸恵

更女のブースでは、活動の紹介と、更女だよりやパンフの配布、自主作品等の販売を支部会員の皆様にご参加いただき行う事ができました。

模造紙に、少年の家の夕食作りや、社会を明るくする啓発運動、おしゃべり交流会等の活動紹介を書き、写真も貼りボードに掲示しました。掲示物を熱心に見て下さる方もあり、更女活動を知ってもらういい機会となりました。

作品の販売は、理事の伊藤さんに教えて頂いた「手作り巾着袋にお手玉を入れたもの」、「昨年好評だった紙ひもカバー」、「ブローチやチョイかぶり」等、会員さん達の手作り品でいっぱいになりました。会員さん以外からも、ショールや布製等の手作り品をご寄付いただき、お店では買えない品物の多くに、お客様も大変喜んで下さいました。

多くの皆様のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



※当日ご参加下さった会員さんの感想です。

◎初めての参加でしたが、心温まる手作りの小物に感心しました。お買物頂く人達との交流も楽しくいい経験でした。

◎会員の手作り作品が多く、手頃な金額にお客様も喜んでくれました。

◎手作りの作品が沢山あり、みなさまの協力が素晴らしいと思いました。お客様も感心しながら買っていました。

◎みんなでワイワイ交流できました。手作り作品も沢山あり、皆で販売するのも楽しいですね。

◎沢山の手作り作品。多勢の方に喜んで頂きました。町民の皆様とお話が出来嬉しかったです。

『西部ブロック研修会に参加して』 11/4

大東支部 熊切 信子

11月4日、菊川プラザげやきでの開催でした。台風24号の大停電の後で出席者の中には、まだ停電が続いている方もおりました。

菊川地区宮城君代会長の開会のことばで始まり、基調講話「活動の見える化」県更女堀靖代会長、8月に静岡新聞で更女会をとりあげ掲載された記事を例にとり、第三者の目でわかりやすく書かれていて、更女の活動内容が広く知られてとても良かった。常に広報を意識して、多くの関係者を巻き込んだ活動をしてほしい。

「更生保護の現状」県保護観察所 岸規子所長

日々変化する中、生活の中にある目の前のものに気づいて、ニーズに合った活動をしてほしい。又、犯罪者の高齢化も問題になっているようです。

午後は各グループに分かれ、事例発表で、私は子育て支援の様子を紹介しました。各地区あいさつ運動、小学校に出向いての活動、おはぎづくり、もちつき、読み聞かせと子供とのコミュニケーションづくりや地域の人を巻き込んでのミニ集会等特色のある活動の発表がありました。皆さんのお話を参考に、今自分に何ができるかを問いながら、少しずつでも前進して行けたらと思いました。



～平成 30 年度静岡県更生保護大会～

11月7日、浜北文化センターにて、静岡県更生保護大会が開催され、当地区更女会から3名が表彰されました。

【静岡県保護観察所長 感謝状】 久嶋 いせ、山下 幸代、内藤 とみ江

受賞された内藤とみ江さんからの投稿を紹介します。

『静岡県更生保護大会に参加して』

大須賀支部 内藤 とみ江

私達更生保護女性会も、保護司さん達と共に参加させて頂きました。この大会は毎年県下の更生保護事業関係者が一堂に会し、更生保護事業に対する県民の期待に応じてその決意を新たにし、士気の高揚を図るとともに、功労者の顕彰を行うものであり、表彰状・感謝状の伝達式が行われました。

その後、浜松を中心に各地の偉人を講談に仕立て、高い評価を得ております講談師 田辺一邑氏により、この保護大会にふさわしい講談の「更生保護の父、金原明善」のお話がありました。

金原明善翁は浜松市出身であり、天竜川の堤防補強、改修や流域の山間地域に杉を植林するなど、治山、治水事業で知られています。明治21年に静岡県出獄人保護会社を設立して刑務所釈放者の宿泊保護や就職あっせん等を行い、現在の更生保護

施設と保護司制度の先駆者であったと言われてい

ます。
私は初めて、この金原明善が更生保護の分野での先人が築いた歴史に大いに社会貢献された事に大変感銘を受けました。今後も更生保護女性会員であると共に、地域社会の活動に新たに邁進して行きたいと思いました。



『大東市民交流フェスタ』 11/18

大東支部 山下 幸代

「地域で絆 フェスタで絆」のスローガンのもと開催されました。大東支部では、昨年静岡新聞に掲載された県更女会の活動記事と、掛川地区の活動をパネルにまとめ展示しました。会場を訪れた皆さんとの会話では、保護司は知っているも、更女は知らないという人の何と多い事か。長い歴史のある会でありながら、活動を伝えて行くことの難しさを感じました。

又、硬くなりがちな更女のブースに、会員さんの作ったつるし雛を飾り喜ばれました。フェスタを通して、1人でも多くの人に、更女会活動が伝わればうれしいです。



『少年の家の夕食作り』 11/1

掛川支部 八重樫 隆子

11月1日、掛川支部5名は「少年の家」での夕食作りに出かけました。今日のメインメニューはハンバーグ。今回も参加者の中で付け合わせの野菜等を家からお持ち下さっていました。材料費の節約になるし、いつもながら、重いのに有難いことです。

到着後、寮長さんから食事をする人数や調味料の有無等、連絡事項を聞き近所のスーパーに買い物に出かけ、調理開始。

当節、少年の家の入所者も中高年が多いようですが今年も若い人もいます。その中の一人が食事作りを手伝ってくれました。未だ十代の人で私達に言われ



るままに皮をむいたり焼き物をしたりと、器用に手伝ってくれるのでした。カレーやおでんのような煮込みなら食べる時に又、火を入れればいいの



ですがハンバーグ等は出来立てを食べさせてあげたいな、と思いながら付け合わせや果物、その他小鉢の物等をセットして終了しました。

私は食事作りに伺うのは3年目になります。少し慣れてきたせいでしょうか、寮長さんともお話しするのが楽しく思える今日この頃です。

『活動で広がる会員の輪』 12/5

大須賀支部 鈴木 睦子

色とりどりのパンジー、ノースポール等々…

師走を迎え、間もない5日、更女大須賀支部会員10名は、花壇の植え付け作業を手際よく進めていました。「ただいま〜」と、元気な声に振り向くと、この施設から浅羽中学に通学する少年でした。

ここ袋井市山崎の児童養護施設「まきばの家」では、自宅で暮らす事の出来ない乳幼児から高校生までの子供達が、牧場の大自然の中で暮らし、近くの幼稚園や学校に通っています。そんな施設へ「何かお手伝いしたい」との会員の思いがあり、要望のあった給食袋22セット、雑巾55枚をお届けしました。そしてもう一つ、玄関先の花壇の手入れでした。いずれも日常業務に追われる先生方



には、出来かねていたとの事でしたが、会員のパワーと底力で、2時間できれいな花壇に出来上がりました。

初めての支部事業でしたが、縫い物も、花壇手入れも大勢の皆さんと一緒にやったことで、会員同士がより一層近くなれたように感じました。今後も無理のないように継続し、ここで暮らす子供達に賑やかなおばさんパワーが届けられたらいいな！と思っています。

榛葉保護司会長から「社会を明るくしようという者の集まりの旅行であり与えられた役をどう乗り越えていくのかという思いを持って施設を視察させて頂こう」という御挨拶。

渥美会長始め 12 名の更女会員の参加でした。行きの中① 薬物依存更正施設 富山ダルク。「一日一生」を掲げその人の気持を理解し和太鼓に打ち込んで認められ立ち直っていった人。② 84 歳の 11 回も放火を繰り返し 50 年もの間刑務所暮らしをして出所した人を牧師さんが愛情を持って接し立ち直っていったという 2 本のドキュメンタリービデオ鑑賞、いずれも自分のしたことで喜んでくれる人がいるということが立ち直るきっかけになるようだ。感動したと同時に自分も誰かの役に立たなければという思いが強くなる。

豊田市の小原地区の四季桜と紅葉の美しい山を眺めたあと、歩き疲れる程広大な名古屋刑務所へ。帽子の色によって仕分けられた作業を、厳しい監視のもとに黙々とする受刑者。有刺鉄線や電柵の塀の内で息が詰まりそう。それなのに再犯者が多いのは、出所しても居場所が無く、受け入れて貰えないことが一番の理由であるということだ。この地域の更女のパンジーの花壇が優しく彼等を見守り、自由で幸になって欲しいと語りかけていた。

宿泊は鶉飼の長良川辺のホテル、カラオケ等して楽しい夜の宴、温泉につかる。

2 日目は谷汲山華厳寺笈摺堂へ。妙心上人(諸国を行脚し 36 才で断食修行をして即身仏「ミイラ」)が祀られている横蔵寺(鎌倉時代の仏像。国の重要文化財が多数ありとても興味深かった。)



～見事な紅葉の養老の滝～関ヶ原の古戦場。たくさん歩き各地で美味しい物をどっさり買い求め喜んでいる我々現代人を妙心上人は苦笑いしておられるのかも？

ガイドさんは、仏教伝来や寺の歴史等をよく調べ熱心に伝えてくれ、保護司の亀井先生は気配りもよく、又オリンピック関連の話もとても興味深く聞かせて頂いた。天気も良く会員皆和気あいあい、よく笑い楽しい旅行をさせて頂きました。

研修させて頂いた知識、感情を活かし差別なく寂しい人には寄り添って更女をの精神を忘れずに世の中に貢献できたらと願っています。

- 編集後記 -

平成時代最後の更女だよりです。

更女会設立 50 周年を機に、平成 26 年度に掛川地区更女会のホームページを立ち上げました。以降、沿革を含め、様々な私たちの活動が紹介されていますが、ご覧いただけましたか？

時代と共に進化する IT 時代に乗って、ちょっと覗いてみてはいかが！！

新たに迎える時代が、より一層穏やかでありますように、願っています。

(大須賀支部)